

J A東京みらい自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともにJ A東京みらいは『総合事業』を展開します

- ◎「未来へ続く東京農業の確立」と「未来へ担うJ Aの経営力強化」の方針のもと、「都市農地の保全」、「農業の担い手の維持と拡大」、「信頼の確保」、「事業の再構築」、「体制の強化」、「財務の安定化」に取り組みます。
- ◎このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんと話し合いを深めます。
- ◎そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であります。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなで願いを叶えていく組織です。

J Aは農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（J Aバンク）、共済事業（J A共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、「地域農業の応援団」として准組合員として加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、J Aの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や農業関連施設・設備への投資が可能です。

いわば、農業者と地域農業の応援団で、J Aの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いを叶える取り組みを支えています。

J A東京みらいでは営農改善費の予算額を70,540千円として、地域農業の発展のために次の取り組みを行います。

1. 農業生産コスト低減への支援（担い手サポート事業）

春肥・秋肥・農薬の共同購入者に対し、購入金額の5%助成を行い、農業生産のコスト低減に取り組みます。

2. 農業生産団体の営農改善に係る取り組み強化支援

地域農業を支える各農業生産団体の運営・活動を支援し、農業生産の充実、農畜産物の安定供給（地域農業振興）に取り組みます。

3. 市民まつり等の運営支援

当J A管内で生産された、「安全・安心・新鮮・高品質」な農畜産物を、市民まつり・イベント等を通じて地域住民等に発信し、「食料・農業・地域・J A」の理解醸成に取り組みます。

4. その他、「都市農地の保全」「農地の担い手の維持と拡大」を柱とした各種事業に取り組みます。